

第1回「東京国際空港再拡張事業に係る環境監視委員会大気環境 WG」 議 事 概 要

【開催日時】 平成19年 2月 22日（木） 14：00～15：00

【開催場所】 関東地方整備局東京空港整備事務所分庁舎5階大会議室

【資料】 資料－1 東京国際空港再拡張事業に係る環境監視調査結果報告
第1回大気環境WG資料

資料－2 東京国際空港再拡張事業に係る環境監視計画 工事中

1. 開会挨拶

2. 議 事

工事開始前2季分の調査結果について報告した。

- ・ 各資料に基づき説明を行った。
- ・ 各委員から、以下の発言があった。

■調査結果について

委 員： 夏季の二酸化窒素の測定結果が低い水準になっていることが疑問である。一酸化窒素はそれほど低くないのに、二酸化窒素が何故、これほど低いのか。浮遊粒子状物質の濃度が低いこととあわせて疑問である。

事務局： 東京都等が設置している大気環境測定局のデータ、測定時の気象条件等を確認して、低かった原因を確認させていただきたい。

委 員： 濃度が高かったときだけでなく、低いときにも気象データ等を確認して、何故そういったデータになったのか原因を分析しておくべきである。

事務局： 了解しました。

委 員： 今回は工事開始前2季分のデータについて、提示があったが、1年4季分のデータが集まった段階では、データに関してコメントがついた報告が為されるのか。

事務局： 環境監視計画の中でも、年4回、四季に行うこととしています。WGにつきましては、今回、2季分のデータが確認出来たことから、半年分の報告として本WGを開催しましたが、今後、もう2季分のデータと併せて、トータル1年分をもって、もう一度、評価を行う予定です。